

中華圏の経営思想		古田 茂美	
-----------------	--	--------------	--

配当年次	1 年次	配当学期	2 学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	◎ 中華圏における経営思想について専門的知識を修得する。
	実践知識	
技能	分析解決技能	
	実務技能	
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	○ 中華圏における経営思想を理解し、グローバルビジネスに携わる上での倫理観を身につける。
	企業変革態度	
	地域リーダー態度	
	国際協調態度	○ 文化圏の違いを理解し、相互理解の上にビジネスを発展させていく態度を身につける。

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

中華圏の経営思想

授業の概要

中華地域の勃興によって強力な東アジア経済圏が形成されようとする今、中華圏の経営思想に関する知識の吸収が日系資本による東アジアビジネス展開に必要な不可欠になってきている。

経営活動には資源が投入され、それが管理統合されて、事業レベル、全社レベルで付加価値を創造し、当初の経営目標を達成するという「資源論」の立場を採用した考え方が経営学の基本をなしている。本講義では対中華圏ビジネスにおける「中華的経営資源」を取り上げるが、それは中華(中国人)社会に賦存して、独自の運動法則を持つもので、特にマイクロ行動原理を支える中国伝統哲学思想が基礎をなしている。儒教思想、道教思想、法家思想、孫子の兵法などの伝統的哲学思想が中華系(または華人系)の経営思想を形作っているため、本講義ではこれら代表的なものを取り上げ、その誕生の背景、中華社会構造に及ぼす影響、中華ビジネスにおける応用に対して理解を深めていく。

教科書

プリント配布の予定

参考書

古田茂美著『中華文化圏進出の羅針盤』ユニオンプレス、2005年
古田茂美著『「兵法」がわかれば中国人がわかる』ディスカバー、2011年
David. K. Tse & 古田茂美共著『グワンシ』ディスカバー、2011年
David. K. Tse & 古田茂美共著『中国人との「関係」つくりかた』ディスカバー、2012年

授業計画・内容

- ① イントロダクション
【東洋と西洋】【マクロ環境】【マイクロ行動原理】
- ② 中国人社会の歴史的考察
【中華】【中国】【華人社会】【古典思想と経営】
- ③ 中国に於ける公私概念と公倫理の特質
【溝口雄三】【繋がりの公】【場の公】
- ④ 「儒教」Ⅰ：孔孟思想の誕生とその継承
【春秋戦国】【論語】【三綱五常】
- ⑤ 「儒教」Ⅱ：現代中華(華人)社会における儒教の影響
【信用】【関係(グアンシー)】【組織協調】
- ⑥ 「道家と道教」：根強い民衆信仰と現代への影響
【老荘思想】【媽祖信仰】【閻帝】
- ⑦ 「法家」の思想構造とその影響
【韓非】【性悪説】【信賞必罰】【法と術】
- ⑧ 「兵法・孫子」Ⅰ：誕生の背景
【戦国時代の諸兵法】【儒教との関係】
- ⑨ 「兵法・孫子」Ⅱ：36計の個別事例研究
【天時、地利、人和】【走为上】【慾擒故縦】

- ⑩「兵法・孫子」Ⅲ：ビジネスにおける応用
【競争理論】【Win-Win】【戦わずして勝つ】
- ⑪「兵法・孫子」Ⅳ：西側の軍事と MBA 教育における扱いの実状
【Art of the War】【軍事教典】【Tony Fang】【湯浅邦弘】
- ⑫中華系経営者のケース
【李嘉誠】【蔡冠深】【張瑞敏】
- ⑬日本企業経営者のケース
【『論語と算盤』】【松下幸之助】【稻盛和夫】
- ⑭総合討議Ⅰ、Ⅱ（受講者による発表を義務付ける）
【西洋と東洋哲学の異同】【対中事業戦略への応用可能性】【日本企業の失敗ケース】
- ⑮まとめ

成績評価の方法 課題レポートの提出状況 30%、討議参加の積極さ 30%、見解の独自性 40%

事前・事後学習の内容 事前配布資料の予習をした上の受講が望ましい

履修上の注意 その他のグローバル関係の講義との並行履修が望ましい
課題提出期限の厳守

担当者からのメッセージ SNSで資料、情報の共有に努めます。
重要な事項について必要があればその都度連絡します。

キーワード